

# めぐりっと紫波

発行者 NPO法人紫波みらい研究所

TEL 019-671-2244 FAX 019-671-2243

E mail miraiken@shiwa-mirai.com

## グループ紹介

## 紫波町食生活改善推進協議会

### 食生活改善に取り組む

いのちの源である食については、最近特に輸入食材の農薬汚染がクローズアップされ、消費者の意識が高まりつつあります。どこでも売っているものだからとか、安い方が良いからという安易な感覚で無意識に購入していたことへの反省も聞こえてきます。地産地消や郷土食の見直し、旬の食材を中心に、と真剣考える傾向は今後増えていくのではないかと思います。食材の調達と調理方法の二本足をしっかり大地につけて、食生活を送りたいものです。

今回は、食について活動している紫波町食生活改善推進協議会を紹介します。町の栄養講座修了者が推進員となり昭和54年に協議会が発足、現在会員数は244名。町内9地区に支部があり、私たち自身の健康にとって何より大切な食をきちんと考えて日々実行していこうと、保健センターの指導の下に活動を続けている方々です。

その中から、水分地区の紫水会の水田好子さん・藤原綾子さん・高岡克子さんにお話を伺いました。



楽しい料理教室



子どもたちも喜んで参加

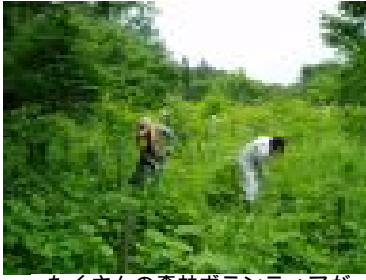
家庭生活の中心である食事のあり方は、調理方法はもちろんですがどのように食べるか、家族構成、家族関係など様々な要素が関わってきますので、とても大切なことと捕らえているそうです。食改協水分支部では部落単位で長い間栄養教室を行ってききましたが、参加者が減少してきたので現在は支部単位で開催し、地区内の婦人団体や公民館と協力し「紫水会」の名前で運営しております。年4回の料理教室では、子育て支援の「にこにこひろば」へ安心おやつを提供したり、健康チェックを兼ねた料理教室を行ったりと、皆さんから喜ばれているとのこと。特に子育て中の若いお母さんとの接点を大切にしていきたいと話されていました。

### 食改協で進めてきた標語・目標

- 「うす味に慣れましょう」
- 「丈夫な骨をつくる食事」
- 「若々しい血管を保つための食事」
- 「ベスト体重を保つための食事」
- 「伝えたい郷土食」
- 「煮干利用で骨粗鬆症予防を」
- 「歩くことで運動習慣を」

皆さんはいくつ実行できていますか？

# 平成の森～動物と共生する森を創ろう！～開催



たくさんの森林ボランティアが下草刈りをしました。



かわいい看板ができました。

日時：平成20年11月2日(日)9時から  
 場所：山王海ダム 平成の森  
 参加人数：82人  
 内容：自然観察会、植樹、どんぐりの植木鉢  
 食育のお話、山王海ダムのお話  
 主催：山王海土地改良区、紫波みらい研究所

## 雨の中の植樹！ご苦労様でした！

朝焼けのきれいな1日が始まったと思ったのもつかの間、紫波町一面が霧におおわれました。しかし、山王海ダムの周辺は霧が晴れており、午前中は持つてほしいと天に祈り続けましたが・・・。

紫波町が、平成14年から18年まで「木の実が動物に！用材は人に！」を合言葉に植樹を行ってきた「平成の森」事業は、昨年からは紫波みらい研究所が引き継いで2年目を迎えました。今年度は、山王海土地改良区と協働で事業を行いました。

平成の森に行ったことはありますか。植樹や森というと山の斜面を想像する人が多いと思いますが、道路沿いの平坦な場所です。今回は、雨の中、幼稚園の年中の子も小学生、中学生のみんなも頑張ってくりやミズナラなどの苗木を植えてくれました。自然観察会では、東京のNPO法人地域パートナーシップ支援センターの小野さんの指導で、木の太さを測り、身近な樹木がどのくらいの二酸化炭素を吸ってくれているのかを調べました。



雨のため、場所を山王海ダムの管理事務所に移し、どんぐりを育てるためのペットボトルを使った植木鉢作りに挑戦です。ペットボトルの中には、土止めのプラスチックシートや不織布を入れましたが、すべて土に還る素材を使っていますので、移植の際はそのまま土に植えることができます。2年後が楽しみです。大事に育ててね！

近くの木に熊の爪あとがありました。クリを食べにきたのかも・・・。



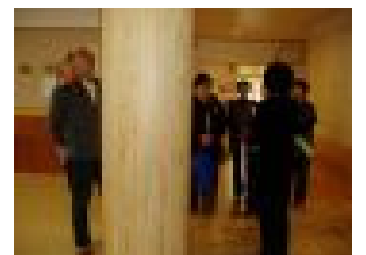
## 紫波町循環型まちづくり見学会

えこ3センターや星山小学校、給食センターを初めて見学する町民が多く、関心の高さを感じました。  
 「感想」  
 施設の取組がよく理解できた。  
 堆肥を実際に使っているのので、製造現場を見学できてよかった。  
 木の香り、木の温かさ、細かな設計上の配慮、これをとってまずばらしい小学校だ。  
 地元の食材や身体によい食材を使用していることがよくわかった。  
 見学会に参加した町民が、「循環型まちづくり」の取組を理解し、一人でも多くの町民に伝えていくことが望ましい。紫波町を大好きな人がもっと増えますように！

日時 平成20年11月14日～16日  
 施設 えこ3センター、星山小学校、平井邸、給食センター、虹の保育園、ワイナリー等  
 主催 NPO法人紫波みらい研究所



堆肥の製造過程を見学



樹齢120年の杉の柱に驚く

# 紫波町イベント情報



## グリーンツーリズム勉強会

12月1日(月)

時間 18時～20時  
 会場 紫波町役場第一会議室  
 内容 初めてのグリーンツーリズム  
 対象 グリーンツーリズムに興味のある方  
 料金 無料  
 問合せ 紫波みらい研究所 TEL 671-2244

## 「百人一首かるた会」 練習会

12月20日(土)・平成21年1月17日(土)

時間 14時～15時30分  
 会場 ひのやサロン 鈴の音  
 内容 岩手県かるた協会の佐々木理事長のご指導をいただきます。  
 料金 無料  
 問合せ 紫波町平泉関連史跡連携協議会  
 紫波中央駅観光案内所 TEL 671-2245

## 食の面白講座

12月18日(木)

時間 10時～13時  
 会場 中央公民館・調理室  
 内容 クリスマスにちょっとおしゃれな料理を作ってみませんか。  
 料金 1,000円(材料費)  
 問合せ 日詰公民館 TEL 671-1642

## いきいき大学 笑い与健康 第3回

還暦すぎて歌手挑戦!?

平成21年1月27日(火)

時間 13時30分～15時  
 会場 中央公民館研修室  
 料金 無料  
 問合せ 日詰公民館 TEL 671-1642

## 漆原栄美子と津軽三味線の夕べ

12月20日(土)

時間 18時30分  
 会場 古館公民館  
 料金 300円(前売りチケット)  
 主催 古館公民館、JA女性部古館支部  
 問合せ 古館公民館 TEL 676-2323

## 「百人一首 新春かるた大会」

平成21年1月31日(土)

時間 14時～16時  
 会場 平井邸お座敷  
 内容 かるた大会。当日は、旧正月の6日新春を寿ぎます。  
 料金 無料  
 問合せ 紫波町平泉関連史跡連携協議会  
 紫波中央駅観光案内所 TEL 671-2245

# 行雲流水(4) - 何を食べるか -

「紫波町学校給食食材生産供給組合」というながい名前の組織が当紫波町にはある。読んで字の如く、町内の学校給食に、当町産のお米や農産物を納入する組合だが、町がいち早くこの方式を採り入れたのは、実に先見の明があったといふべきだろう。言うまでもない、今年には食の問題で揺れに揺れた。餃子にメタミドホス、乳製品にメラミン、いんげんにジクロロポス、小豆あんにトルエン、そして牛肉やうなぎの産地偽装と枚挙にいとまがなかった。とどめは食用にはならぬはずの汚染米の流通。これは学校給食にも使用されていたとて問題になった。現代の私たちは、自分の口に何を入れているか自分では確かめようもないところに置かれている、とつくづく思わせられた。暫く前、餃子問題に揺れていた頃、ある所に「目の前の農家を作った玄米を分けて貰い精米する、町内そちこちの産直で朝採りの野菜を買う、自宅の裏で夏野菜を栽培する、県内三陸から届いた新鮮な魚を選んで買う、そういう食の暮らしを心から幸せと感じる今日この頃」という意味の文を書いたことがあったが、その思いはますます募る。学校給食は単に「昼食」の時間ではなく、そういう「幸せ」について考えたり、食事作法をしっかりと心得させる場であって欲しいと思う。幸いにも最近「箸」を使う給食が多いとのことだし。(三)

# 紫波町平泉関連史跡連携協議会からのお知らせ！

## 第3回 紫波・平泉フォーラム開催

平成21年1月18日(日) 13時30分から16時  
会場 ナックスホール  
基調講演『平泉世界遺産登録の展望と課題』(仮題)  
講師 工藤雅樹氏(文学博士・福島大学名誉教授)  
フォーラム  
『平泉のうねりを県央へ...紫波の道すじ』(仮題)  
パネラー(予定)  
岩手県盛岡地方振興局担当課長  
紫波町担当課長  
紫波町平泉関連史跡連携協議会幹事  
コーディネーター 内城弘隆氏(どっこ舎主宰)  
資料代 500円  
基調講演をいただく工藤先生は、岩手県文化財保護審議会会長・平泉の登録推薦書作成委員長を務められ、東北の古代史研究と実務の第一人者です。平泉と紫波との関わりについても大変重要な位置づけをされております。とても貴重なお話を聞くことができると思いますので、お誘いあわせの上、おいで下さい。

## 会員募集中！

紫波町平泉関連史跡連携協議会の会員を募集しています。  
年会費 1,000円

## 申込み・問い合わせ先

紫波町平泉関連史跡連携協議会  
よんりん舎内 紫波町日詰字郡山駅 57-3  
TEL 019-671-1755  
紫波中央駅案内所 紫波町紫波中央駅前 1-2-2  
TEL 019-671-2245

「めぐりっと紫波」編集協力団体

紫波トークセッション さくら製作所

「めぐりっと紫波」は毎回多くの人の手を借りながら、皆さんとともに歩んでいます。

次回も楽しい話題・活動紹介など、盛りだくさんでお届けします。

今回は、平成21年1月発行予定です。

## 関連史跡をめぐる動き

町と地元の協働で、赤沢判官堂に新しい鳥居が立ちました。

赤沢地区平泉関連史跡懇談会が、独自の案内標柱を設置。来訪者が急増しています。

県の補助金を活用し、陣ヶ岡南参道脇に大型バス駐車場設置されました。

走湯神社では、頼朝の由緒を解説する説明板を独自に作成しています。

樋爪館と判官堂の想像絵図の原画ができました。解説を添え、年内建立を目指します。



赤沢判官堂の鳥居

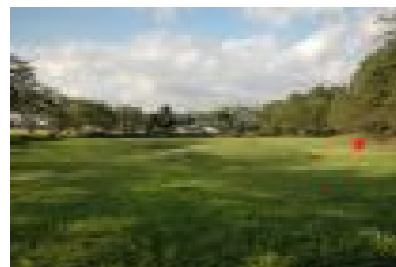
## 平成21年度の活動計画を検討

秀衡の造営がそのまま残る月の輪形に水を入れ、池の景観復元を図る。

(雑草で形が不明瞭になってきている)

陣ヶ岡・樋爪館・安倍道を候補とし、県および国へ史跡指定を働きかける。

観光案内事業を強め、企画・募集・営業・態勢など全面的に見直しを図る。



蜂神社  
月の輪形

